

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名): スパン N
供給者の会社名称: 株式会社 タセト
住所: 〒251-0014 神奈川県藤沢市宮前 100-1
担当部門: 化学品技術グループ
電話番号: 0466-29-5638
FAX番号: 0466-29-5630
緊急連絡先及び電話番号: 同上
推奨用途及び使用上の制限: 溶接時のスパッタ付着防止剤

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性: 引火性液体 区分に該当しない
健康有害性: 急性毒性(経口) 区分に該当しない
急性毒性(経皮) 区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気) 区分に該当しない
環境有害性: ー

※ 物理化学的危険性、健康有害性、環境有害性に関し、上記以外の項目は、「分類対象外」、「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル: なし
注意喚起語: なし
危険有害性情報: なし

注意書き: 【安全対策】 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手をよく洗うこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

必要などき以外は、環境への放出を避けること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】 呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。

飲み込んだ場合: 気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合: 多量の水/石鹸で洗うこと。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

【保管】 子供の手の届かないところに置くこと。

容器を密閉して、涼しく換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】 内容物/容器を国際、国、都道府県、又は市町村の規則に従って産業廃棄物として処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

成分及び含有量:

化学名(一般名)	濃度(wt%)	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	PRTR法 ¹⁾
水	75~85	7732-18-5	ー	非該当
アルキド樹脂	15~25	非公開	非公開	非該当
添加剤	0.3	非公開	非公開	非該当

危険有害成分:

I) 化学物質排出把握管理促進法

非該当

II) 労働安全衛生法 57条の2

通知対象物質: なし

4. 応急措置

吸入した場合:	負傷者を新鮮な空気のある場所に移動し、休息させる。 嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。 水でうがいをする。
皮膚に付着した場合:	全ての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。 皮膚と接触した場合は、直ちに多量の水／石鹼水で洗う。
眼に入った場合:	直ちに清浄な水で5分間以上洗い流す。 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診察を受ける。 眼球を傷つける可能性があるのでこすらない。
飲み込んだ場合:	嘔吐が自然に生じたときは気道への吸入がおきないように身体を傾斜させる。 事故の場合又は気分が悪いときは、直ちに医師の診察を受ける。 飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受け、この容器に記載された注意事項やラベル、SDSを示す。 飲み込んだ場合は、水で口内を洗う(その人の意識がある場合のみ)。
応急措置をする者の保護に必要な 注意事項:	救助者は、保護具を着用する(「8. ばく露防止及び保護措置」の注意事項を参照)。
医師に対する特別な注意事項:	直ちに医師の診察を受け、この容器のラベルに記載された注意事項又はSDSを示す。

5. 火災時の措置

適切な消火剤:	泡、噴霧水、乾燥砂、粉末
使ってはならない消火剤:	情報なし
特有の消火方法:	周辺火災の場合: 移動不可能な場合、容器、梱包及び周辺に散水し冷却する。 着火した場合: 火元(燃焼源)を断ち適切な消火剤を用いて風上から消火。
消火活動を行う者の特別な保護具 及び予防措置:	火災により有毒ガスやヒュームが発生するので、適切な呼吸用保護具(送気マスク、自給式呼吸器等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置:	作業者は保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、風上で作業する。屋内の場合、処理が終わるまで適切な換気を行う。 漏出した場所の周辺にはロープを張る等して、関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項: 封じ込め、浄化の方法及び機材:	漏出物が河川、水路等公共水路に流れ込むのを防止する。 漏出液を密閉可能な容器にできる限り集める。 残留液は土、砂等に吸着させて密閉可能な容器に回収する。 回収した漏出物は廃棄上の注意に従って廃棄する。
二次災害の防止策:	漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。 万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

関係法規に準拠して作業する。

取扱い	容器は注意して取扱い、開ける。 使用時には飲食しない。 皮膚との接触を避ける。 眼との接触を避ける。 眼と接触した場合は直ちに多量の水で洗い医師の診察を受ける。 全ての汚染された衣類を直ちに脱ぐ。 皮膚との接触した場合は、直ちに多量の水又は石鹼水で洗う。
技術的対策:	換気のない区域でだけ使用する。 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けその位置を表示する。 取扱いは換気のない場所で行う。 作業中のコンタクトレンズの着用は好ましくない。 局所排気装置の設置された場所で作業する。 眼／顔面用の保護具を着用する。 適当な保護衣及び眼／顔面用の保護具を着用する。 取扱い後は手洗い、洗眼を十分に行う。
安全取扱注意事項:	知見なし

接触回避:	情報なし
保管 安全な保管条件:	熱から離して保管する。 着火源から離して保管する一禁煙。 容器を密閉して保管する。
安全な容器包装材料:	情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度:	設定されていない
許容濃度(ばく露限界値)	
日本産業衛生学会(2021年版):	設定されていない
ACGIH(2021年版):	設定されていない
設備対策:	取扱いについては全体換気装置又は局所排気設備を設置した場所で取扱う。 取扱い場所の近くにシャワー手洗い洗眼設備等を設けてその位置を表示する。
保護具 呼吸用保護具:	本製品を多量に使用する場合、又は密閉空間で使用する場合には、送気式もしくは自給式呼吸器を推奨する。
手の保護具:	不浸透性手袋(ウレタン製等)
眼、顔面の保護具:	保護眼鏡(ゴーグル型)又は保護面(防災面)
皮膚及び身体の保護具:	帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴を推奨する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、形状、色など:	乳白色液体
臭い:	特異臭
融点/凝固点:	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲:	データなし
可燃性:	なし
爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界:	データなし
引火点:	なし
自然発火点:	データなし
分解温度:	データなし
pH:	7.0~8.0
動粘性率:	データなし
溶解度:	水に可溶
n-オクタノール/水分配係数(log値):	データなし
蒸気圧:	データなし
密度及び/又は相対密度:	1.0
相対ガス密度(空気 = 1):	データなし
粒子特性:	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	通常の保管及び取扱いの条件では安定と考えられる。
化学的安定性:	通常の保管及び取扱いの条件では安定と考えられる。
危険有害反応可能性:	情報なし
避けるべき条件:	情報なし
混触危険物質:	情報なし
危険有害な分解生成物:	情報なし

11. 有害性情報

急性毒性(経口):	急性毒性推定値(ATEmix) > 2,000
急性毒性(経皮):	急性毒性推定値(ATEmix) > 2,000
急性毒性(吸入: 気体):	区分に該当しない。(分類対象外)
急性毒性(吸入: 蒸気):	急性毒性推定値(ATEmix) > 20,000(注: 毒性値をppmVに換算して計算)
急性毒性(吸入: 粉じん及びミスト):	有用な情報がなく分類できない。
皮膚腐食性/刺激性:	有用な情報がなく分類できない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	有用な情報がなく分類できない。
呼吸器感作性:	有用な情報がなく分類できない。
皮膚感作性:	有用な情報がなく分類できない。

生殖細胞変異原性:	有用な情報がなく分類できない。
発がん性:	有用な情報がなく分類できない。
生殖毒性:	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	有用な情報がなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	有用な情報がなく分類できない。
誤えん有害性:	有用な情報がなく分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性:	水生環境有害性 短期 (急性)	有用な情報がなく分類できない。
	水生環境有害性 長期 (慢性)	有用な情報がなく分類できない。
残留性・分解性:	情報なし	
生体蓄積性:	情報なし	
土壌中の移動性:	情報なし	
オゾン層への有害性:	有用な情報がなく分類できない。	

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報:

- この製品は排水溝中に空けてはならない。
- 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。
- 法的規制に適合した設備と方法で焼却処理を行う。
- 焼却条件によっては有毒ガスが発生する可能性があるため、除害装置のある焼却炉の使用を推奨する。
- 都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
- 容器は関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
- 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送:	IMOの規制に従う。
航空輸送:	ICAO/IATAの規制に従う。
UN No.(国連番号):	該当せず
Proper Shipping Name(品名):	—
Class(国連分類):	—
Packing Group(容器等級):	—
輸送又は輸送手段に関する 特別の安全対策:	保護具、消火器を携帯する。 必要であれば、イエローカードを携帯する。 梱包や袋が破れないように丁寧に取り扱い。 容器に漏れないことを確認し、落下、転倒、破損がないように積載し、荷崩れ防止を確実にを行う。

国内規制がある場合の規制情報:

陸上輸送:	消防法等、該当法に定められた運送方法に従う。
海上輸送:	船舶安全法等、該当法に定められた運送方法に従う。
航空輸送:	航空法等、該当法に定められた運送方法に従う。
緊急時応急措置指針番号:	該当せず

15. 適用法令

労働安全衛生法:	表示対象物質 : 非該当 (法第57条、施行令第18条第1号別表第9) 通知対象物質 : 非該当 (法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 有機溶剤中毒予防規則 : 非該当 特定化学物質障害予防規則 : 非該当
消防法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
化学物質排出把握管理促進法: (PRTR法)	非該当

水質汚濁防止法により、有機物負荷排水を直接環境へ放出することは規制されている。
下水、河川、海、土壌中に直接廃棄することはできない。

16. その他の情報

参考文献等:

- 1) 独立行政法人 製品評価技術機構(NITE) GHS分類結果
- 2) JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学品の分類方法」
- 3) JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
- 4) 許容濃度の勧告(2021)、日本産業衛生学会
- 5) Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices、ACGIH(2021)
- 6) ㈱タセト 社内資料(原材料SDS)

記載内容の取扱い

本データシートは、製品の安全性に関する要求事項を記載しています。

本データシートは、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、作成時点で当社の有する情報を取扱事業者に提供するものです。取扱事業者は、この情報に基づいて、自らの責任において、適切な処置を講ずることが必要です。

従って、本データシートは、製品の安全を保障するものではなく、本データシートには記載されていない、当社が知見を有さない危険性及び有害性のある可能性があります。